

**ごみ減量特集号**  
 ▶ 問い合わせ 環境課ごみ・リサイクル係  
 ☎042-378-2111 (内線262、263、265)  
 ☎042-378-3310  
 ✉kanky@city.inagi.lg.jp

**広報**



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>  
 公式ツイッター [http://twitter.com/inagi\\_city](http://twitter.com/inagi_city)  
 ◀ メール配信サービス (登録される方は、左のQRコードから、または「inagicity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください)

市役所(代表) ☎042-378-2111  
 平尾出張所 ☎042-331-6346  
 若葉台出張所 ☎042-350-6321  
 開庁時間 午前8時30分~午後5時

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781

## みんなで目指そう! 「ごみ減量」

一人ひとりの努力の積み重ねと  
 ちょっとした工夫が大きな効果に!



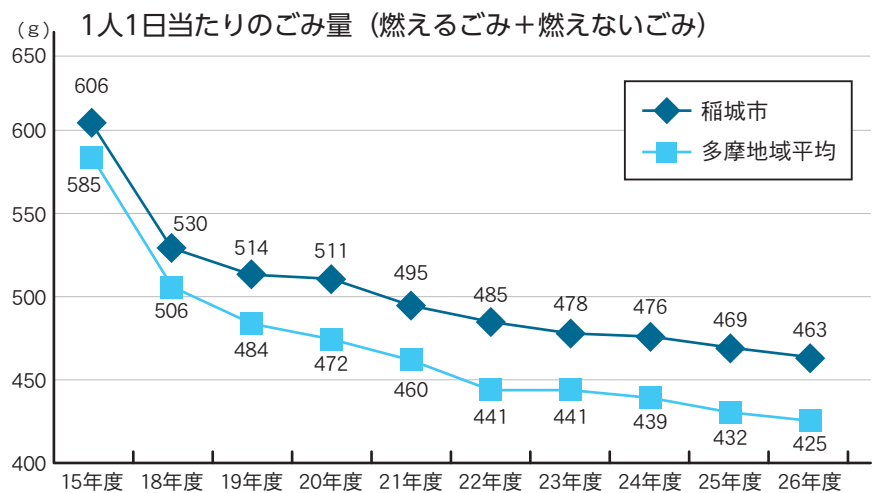
### 稲城市内のごみって多いの? 処理にいくら使っているの?

#### 平成26年度に稲城市内から出たごみと資源物の量

項目	稲城市全体の収集量		一人当たりの収集量	
	年間(t)	1日当たり(t)	年間(kg)	1日当たり(g)
燃えるごみ	13,378	36.7	155.0	424.6
燃えないごみ	1,213	3.3	14.1	38.5
粗大ごみ	360	1.0	4.2	11.4
資源物	3,324	9.1	38.5	105.5
合計	18,275	50.1	211.8	580.0

平成26年度の稲城市民1人1日当たりのごみ量(燃えるごみ+燃えないごみ)は463.1gで、平成25年度と比べると5.6g減少しました。年間にすると市民1人当たり約2kgの減少となっています。

多摩地域の1人1日当たりの平均ごみ量は425.0gでした。稲城市では多摩地域平均と比較して多くのごみが出ています。



#### ごみ処理には多くの財源が必要になっています

平成26年度のごみ処理経費は合計約12.7億円でした。ごみ処理に使われている財源の76%は一般財源を使っています。また一般家庭からのごみ処理や粗大ごみ処理等の手数料、資源物を売却した収入もごみ処理経費に使われています。

#### 平成26年度ごみ処理経費 (合計12.7億円)

項目	費用
ごみを集めてクリーンセンター多摩川へ運ぶ費用	2億1,323万円
クリーンセンター多摩川でごみを燃やし、砕いて小さくしたりする費用	5億5,017万円
クリーンセンター多摩川でごみを燃やして残った灰の一部を日の出町の東京たま広域資源循環組合に運び、エコセメントにする費用	9,743万円
その他経費 (指定収集袋作成、販売経費など)	1億2,503万円
資源となる古紙やペットボトルなどをリサイクル施設に運んで、再商品化するための費用	2億8,750万円

### どんなものが捨てられているの? ごみは減らせるの?

市では毎年ごみの組成を調査し、ごみの分別効果と併せ、ごみの減量とリサイクル推進の基礎資料とすることを目的に組成分析を行っています。平成26年度の組成分析の結果は以下のとおりです。



集めたごみからサンプリング



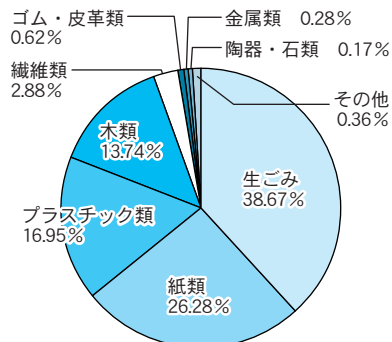
奥にあるごみ袋から分析します



一つひとつ手作業での分析

#### 燃えるごみ

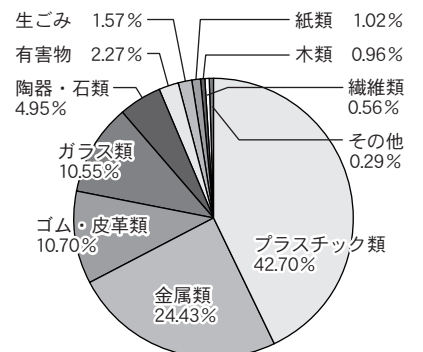
燃えるごみに占める割合が特に多いものは、全体の約38%が生ごみでした。次いで紙類、プラスチック類、木類の順となっていました。紙類のうち約半分が、新聞や雑誌、ダンボール、包装紙などリサイクルできる古紙が混ざっていました。また生ごみのうち約75%が水分であることが分かりました。



生ごみを出す前によく水を絞ることなどで、ごみの重量を減らして嫌な匂いも抑えられます。また紙ごみを出す前には、資源物を分別してから出しましょう。

#### 燃えないごみ

燃えないごみの中には、プラスチック類が約42%で一番多く、次いで金属類、ゴム・皮革類、ガラス類の順となっていました。金属類の中には、鍋やフライパン、やかん、スチール缶、アルミ缶などの資源化できるものが多く含まれていました。



資源になる金属類は、分別して金属物の日や缶などの資源の日に出しましょう。

# 始めようリサイクルで快適生活

## 市では多くの方がリサイクルに取り組めるよう 様々な事業を行っています

### 食べられるのに捨てられてしまう食品を活用！ フードドライブ

#### こんなに多いの？「手付かずで捨てられる食品」

平成26年度に実施した組成分析の結果、燃えるごみの中に「手付かずの食品や食材」が約14% (約726トン) 含まれていました。

そこで、食品ロスを削減してごみ減量を推進するために10月12日のくらしフェスタでフードドライブを実施しました。市民の皆様のご家庭にある未利用食品を提供していただき、集めた食品は、インスタント・レトルト食品、缶詰、お米、お茶、コーヒーなどの食品が合計160点、重量にして180.9kgが集まりました。

今回、提供いただいた食品は、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンに引き渡し、食品を必要としている方々へ届けられました。

今後も様々なイベントを中心にフードドライブを行いますので、ぜひご活用ください。

手付かずで捨てられていた食品



×363台

捨てられる前に集めて、必要としている方々へ届ける



### 使わなくなった小型電子機器を回収しています

#### 貴重な資源をリサイクル

デジタルカメラやゲーム機などの小型電子機器には、レアメタルなどの貴重な金属が使用されており、市では資源物の再利用のため市役所や文化センター・家電販売店など11カ所に設置してある専用の回収ボックスやイベントでの回収を行っています。

回収できる  
9品目

30cm×30cm×15cm  
以下の小型電子機器



#### 拠点回収 (ボックス回収)

- ①市役所 (1階総合案内横)
- ②中央文化センター (窓口横)
- ③第二文化センター (窓口横)
- ④第三文化センター (窓口横)
- ⑤第四文化センター (窓口横)
- ⑥城山文化センター (窓口正面)
- ⑦中央図書館 (カウンター正面)
- ⑧総合体育館 (窓口正面)
- ⑨平尾出張所 (窓口横)
- ⑩iプラザ (1階窓口正面)
- ⑪ノジマ若葉台店 (相談カウンター正面)



#### 宅配便で回収

リネットジャパン株式会社と連携協定を締結し、10月1日から宅配便を活用した回収サービスを開始しました。個人を対象に、回収する小型電子機器はパソコンを中心に400品目以上です。

※3辺の合計が140cm以内のダンボール箱に重量20kg以内

▷利用方法 リネットジャパンまたはFAXで申し込み、指定した日時に宅配業者が自宅まで回収に伺います。

▷費用 1箱880円 (税抜き)

※パソコンを含めれば、回収料金は1回1箱まで無料となります。



インターネット (パソコンまたはスマートフォン)・ファクスからお申し込み

ダンボール箱等に詰めるだけ♪詰める箱が無い方へ、箱の事前お届けも可能!

宅配業者が、ご希望の日時に回収に伺います!

#### イベント回収

10月24日・25日にIのまちいなぎ市民祭で小型電子機器のイベント回収を行いました。2日間で104.3kgの小型電子機器を回収できました。

今後もイベント回収を行いますので、ぜひご活用ください。



### きれいにしよう！ わがまち3大清掃

#### 多摩川清掃

毎年4月上旬に、多摩川を美しくする会の主催で実施しています。この清掃は、稲城市内に流れる多摩川を美しく保つために実施しており、毎年1000人以上の方が参加しています。今年は4月5日に「第36回多摩川清掃」が実施されました。

#### 環境美化市民運動

毎年7月の小中学校が夏休みに入った最初の日曜日に、稲城市環境美化市民運動推進本部の主催で実施しています。この清掃は「まちの美化は、あなたが主役」をテーマに、約1万人の市民の皆様が一斉に清掃を行う、稲城市ならではのイベントとして定着しています。今年は、7月19日に「第41回環境美化市民運動」が実施されました。

#### 三沢川清掃

毎年3月上旬に、三沢川清掃推進本部の主催で「三沢川清掃」を実施しています。今年度も実施する予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

### 出す前に もう一度、ごみの分別確認を！

10月9日に市内から回収したごみを処理している「クリーンセンター多摩川」のごみピット内で火災がありました。

間違った分別でごみが捨てられますと、収集車やごみ処理場の火災など事故につながる恐れがあります。

特に、スプレー缶やライターなど有害物は、火災などの危険性が高いため、絶対に混入させないでください。ごみを出す前には、もう一度、分別が間違えていないか確認をお願いします。

